

男女共同参画会議議員と大臣との懇談会（5／9）

納米恵美子議員 意見

1. 「Ⅰ 女性に選ばれ、女性が活躍できる地域づくり」について

地方における人口減少、女性の転出超過の問題が大きく取り上げられていますが、女性に選ばれる地域にしていくという視点に加えて、現在は人口流入基調にある3大都市圏の現状にも目を向けていただきたいと思います。

私が暮らしている川崎市は社会増による人口増加が続いています。7行政区中6区で性比は減少傾向にあり、理由の一つとして女性の人口流入が多いことが推測されます。市民意識調査の結果で、女性にとっての働きやすさを問う設問に対して、男女ともに半数以上が「働きやすいとは思わない」と回答しています。その理由としてもっとも多い回答は、「男性の家事・子育て・介護への参加が十分でないから」で、男女とも6割を超えます。原因はさまざまあるとは思いますが、そのひとつとして、通勤時間の長さがあると思われます。さいたま市、相模原市、千葉市、川崎市などの首都圏の政令市では、東京へ通勤する人も多く、家計を主に支える者の通勤時間は全国平均に比べて長い傾向にあります。労働時間に加えて通勤時間の長さは、男性の家事・子育て・介護への参加にマイナスに働いていると思います。そして現状ではケアワークを引き受けることになる場合が多い女性の就業には、マイナスに作用してしまいます。若年の女性たちが流入している東京圏、特に都区部を囲む地域ではこうした問題があって、それへの対処も必要だということを申し上げておきたいと思います。

2. 「Ⅳ 個人の尊厳が守られ、安心・安全が確保される社会の実現」について

本年4月11日に開催された「女性に対する暴力に関する専門調査会」で議論された事項を反映させていただきたいと思います。この分野では、刑法改正、DV防止法改正など近年、重要な法改正が行われました。多くの委員が発言したように、これらの法律の運用状況についてウォッチし、その結果をジェンダー統計として把握、公表していくことを求めます。また、加害者への対応についても多くの委員が言及しました。こうした意見を「女性活躍加速のための重点方針2025」に反映させていただきたいと思います。

3. 新たな「女性デジタル人材育成プラン」について

デジタルスキルが就労に不可欠となってきている点については異論がありません。申し上げたい点は2点です。1点目はスキルのレベルです。IT技術者、ITエンジニアとなるとかなり高いレベルなのではないでしょうか。高収入かもしれませんが、労働時間も長いのではないかという点が心配です。人材供給により改善されるのかもしれませんが、IT業界の働き方改革も必要になってくるのではないかと思います。第2点目ですが、女性だけに「育児・介護等と両立させながらデジタルを活用して柔軟に働く」という打ち出しをするというのは、現状でのニーズは労使双方にあるのはわかりますが、結果として性別役割固定につながってしまうので、やめていただきたいと思います。